

膀胱全摘除術、尿管皮膚瘻術を受けられる患者様へ

-入院診療計画書-

泌-16.14-1

	患者ID	氏名	様	年	月	日				
経過 月 日	入院	 手術前日	術前	術後	術後1日目	術後2日目	術後3～6日目	術後7日目	術後8～14日目	 退院
			手術には 時 に行きます							
目標	手術について理解しましょう 不安なく手術が受けられるように休みましょう 心配事や眠れない時は看護師に知らせましょう		手術後の傷が順調に治るように清潔を保ちましょう 痛みや吐き気、お腹が張るなど辛い症状がある時にはすぐに看護師知らせましょう 歩行許可が出たら、頑張って動きましょう							
食事	 常食		 食事・水分はとれません		回診後、お腹の状況によって飲水の許可が出ます。 状態によって昼食から開始予定です。					
安静度	 安静度は自由です		手術室には歩いて行きます。歩けない方は移送車で行きます。 帰室後ベッド上安静 回診後に座位可 歩行訓練をします							
排泄			浣腸をします		排尿のための細い管が2本入ります			練習のために3～4日毎にパウチ交換を行います		
					創部周囲に排泄のための管が2本入ります			状態により管を抜きます		
清潔	 シャワー浴可		手術室で創部の剃毛をする場合があります 毎日身体を拭きます ドレーン(創の管)と背中痛み止めの管が抜けると、シャワー浴が出来ます。パウチ貼っていてもシャワー浴可能。							
薬	内服薬の確認をします				医師の指示で					
点滴	薬剤師から薬の説明があります		時に薬を飲みます		飲水・食事の摂取量状況に合わせ、点滴を減らします 背中に痛み止めの細い管が入ります ★痛い時は注射や座薬を使います			痛みの程度により管を抜きます。 内服薬は医師の指示で再開します		
検査 処置	パウチ交換のDVD視聴 ストーマの位置を決めます				酸素吸入 血液検査 心電図モニター装着します					
説明 指導	 承諾書確認 入院時説明 特別な栄養管理の必要性 ☒ 有 ・ 無		 術後説明		 パンフレットを参考にパウチ交換の練習をします ストーマ装具販売所(ムトウ)との面談があります ☆医療社会事業部から身体障害者手続きについて説明があります。 ★医師より組織の結果を説明します。					
備考	《手術に必要なもの》 ・テープ止めタイプオムツ1枚 ・オープントップ1箱(2個入) (当院ローソンで購入できます) ・OS-1 500ml 4本		40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて総合的な機能評価を行う場合があります。 ★状態に応じて、予定が変更になることがあります ★わからないこと、心配なことは遠慮なく医師・看護師にご相談ください							

主治医

主治医署名

主治医の押印がある場合は不要

主治医以外の担当者 看護師:

薬剤師:

栄養士: